令和３年度 授業改善推進プラン 社会科

	観点別		
学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
３年	・区内の特色ある地域の様子、四方位や地図記号、地域で働く人の様子や安全を守るための人々の働き、区内の昔から今までの変化について、具体的な理解を図る。 ・教科書・副読本などの文章や写真、映像、社会科見学で調べたことなどを有効に使い、地域の特色や昔と今との違い、地域で働く人たちの様子や安全を守るための人々の働きについて調べさせる。	・観察・調査を通して調べたことを、絵地図や新聞などに表現するとともに、地域の特色や人々の様子、働く人たちの工夫や努力について、調べたことをもとに考えたことを文章でまとめ表現する機会を多くもつ。	・大田区の様子、身近な産業の様子、人々の安全を守る働き、大田区の昔から今への変化に関心をもち、社会科の学習に意欲的に取り組むことができるよう、生活科との関連を意識した授業の構成を行う。
４年	・東京23区や都道府県の名称、地図の読み方など、基本的な事項についての理解を図る。 ・地域社会で働く人の様子や東京都の特色について理解させる。 ・教科書・副読本などの文章や写真、映像、社会科見学で調べたことなどを有効に使い、特色や違いを読み取ることができるようにしていく。 ・地図帳を効果的に活用し、都内の地形の特色について読み取る機会を多くもたせる。	・資料や映像、見学を通して調べたことを文章でまとめるとともに、地域の特色や人々の様子について調べて分かったこと、そこから考えたことを文章で表現させる。 ・学習したことを、自分の生活にはどのように生かすことができるかという見方を高めていく。	・人々の健康と安全を守る働き、東京都の概要と特色ある地域の様子について、資料や映像、見学を通して児童が関心をもち、すすんで調べることができるよう、教材提示や発問の工夫など、指導の充実を図る。
５年	・各単元ごとにおさえるべき用語を使ってまとめ、知識を確実に定着するようにさせる。また、用語や資料を活用して、日本の国土や産業に対する理解を深めさせる。 ・地図帳を活用し、方位や地図記号、都道府県名などの確かな定着を図る。 ・主題図や統計資料、各種のグラフを効果的に活用し、国土や産業の様子について読み取らせる。 ・世界の主な国と大陸・海洋、日本の工業地帯など、地図帳を授業内で活用する機会を多くもつ。	・調べたことをもとに、日本の国土と産業の様子について、その特色や課題、わたしたちのくらしとのかかわりについて、考えたことをノートや新聞などに表現させる。	・日本の国土と産業の様子について、身近な事例や具体物をもとに考えさせ、わたしたちのくらしとのつながりについて自分の考えをもたせる指導を行う。
６年	・各単元ごとにおさえるべき用語を使ってまとめ、知識を確実に定着するようにさせる。また、用語や資料を活用して、政治の働きや日本の歴史、国際社会における日本の役割について、理解を深めさせる。 ・絵や写真、年表など複数の資料を効果的に活用し、日本の歴史や政治、国際社会の様子について具体的に調べさせる。 ・吉野ヶ里遺跡や関ヶ原など、歴史学習で出てくる地名については、地図帳でその位置と特色をおさえていく。	・調べたことを基に、政治の働きとわたしたちの生活との関わり、歴史上の各時代の特色、国際社会における日本の役割について、考えたことを短文やミニ新聞、関係図などに表現させる。 ・学習したことを基に、政治／歴史／国際社会とわたしたちのくらしとのかかわりについて、考えたことを文章で表現させる。	・わたしたちのくらしと政治の働き、日本の歴史とわたしたちの生活とのつながり、国際社会における日本の役割について、学習したことを基に自分の考えをまとめたり、新聞記事などから学習内容に対する関心をもたせたりする指導を行う。 ・デジタル教材、映像資料を効果的に活用し、意欲を高める。